

令和2年 第1回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和2年1月22日

仙北市教育委員会

令和2年 第1回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和2年1月22日(木) 午後1時50分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲

4 出席した事務局職員

教育部長	戸澤 浩
教育次長	三浦 政喜
教育次長兼教育総務課長	
兼田沢湖学校給食センター所長	
兼西木学校給食センター所長	浅利 美智子
教育次長兼生涯学習課長	佐々木 幸美
教育次長兼学習資料館	
・イベント交流館長	富岡 美津子
北浦教育文化研究所 所長	米澤 孝子
角館学校給食センター 所長	千葉 幸仁
田沢湖公民館長	保坂 博明
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	真崎 智明
市民会館長兼田沢湖図書館長	佐々木 信介
スポーツ振興課長	伊藤 聡
文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一
平福記念美術館参事	松橋 幸太郎

5 議事

(1) 議案審議

議案第 1号	令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について
議案第 2号	仙北市旧石黒(恵)家管理規則の一部を改正する規則制定について

(2) 報告事項

報告第 1号	仙北市教育行政報告について
報告第 2号	仙北市学校給食用食材の納入に関する要綱の制定について
報告第 3号	地域学校協働活動推進員の委嘱について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、令和2年第1回仙北市教育委員会1月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には千代課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、橋本委員を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後をお願いいたします。

(熊谷教育長)

私の挨拶としてまず、生保内中学校の事案につきまして、県の方から処分等が発表されました。私どもはそれを厳粛に受け止め、このようなことが二度とないように、しっかりとした体制、対応をして参りたいと思います。

次に1月8日に第16回子どもセミット、子ども議会が開催されました。2年ぶりの開催であり前回は子ども達からの質問を受ける形式でした。今回は提案をいただくという形式でした。提案内容も先生たちの指導もしっかりなされていると感じられ、子ども達の思い等が伝わる、しっかり考えられたものでありました。

次に1月18日に児童生徒県南美術展表彰式が平福記念美術館で開催されました。42回目の開催で県南でも非常に歴史のある美術展であります。今回は1,037点の出展作品数でありました。出展作品の内容の充実度等、審査委員の方々からも高い評価、お褒めの言葉を頂戴いたしました。

これから2月に向けて、スキー全日本大会、FIS フリースタイルスキーワールドカップ大会等、さまざまな行事も予定され、雪の心配等もありますが準備等を整えオール教育委員会で対応して参りたいと考えております。

(熊谷教育長)

次に1月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(熊谷教育長)

1月の事務報告に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議事に入ります。

議案第1号令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第1号令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について、別紙のとおり定例会に提案するものです。今回の補正予算につきましては、委員会全体で1,764万3千円の減額補正要求となっております。現段階ではあくまでも要求でありますので、今後の査定で決定しましたら2月の定例会等で報告させていただきます。それでは各課より内容等を説明させていただきます。2ページをご覧ください。教育総務課・北浦教育文化研究所です。歳入につきましては、今年度も角館感恩講様から1月27日に奨学基金への寄付金を頂く予定となっております。歳入要求をしております。歳出につきましては、年度の終わりと言うことで不用額を出さないよう事業精査を行い減額補正を行うものです。10款1項3目の中の繰出金については、先程説明致しました寄附金15万円を基金の方に積み立てるものです。下段の育英奨学基金繰出金、16万3千円の減額については、ゲットバックによる繰出金の残額を減額するものです。この減額は当初予定していた額よりも早く返納、学校に行かなくなった等の変動により減額となったものです。次に10款2項1目施設管理費(小学校)の委託費については事業確定による減額、備品購入費についても消火器の購入、更新の確定による減額となっております。特別支援教育支援員派遣事業費については、当初の予定より現在、2名程少なくなっ

ています。病休・産休等もあり見込を精査し減額しております。3ページをご覧ください。小学校施設大規模改造事業費委託料、工事請負費ともに桧木内小学校体育館大規模改修工事完成による精査による減額となっております。

次に10款3項1目外国青年招致事業の旅費については、8月にネイトさんが帰国したことによる精査によるものです。諸工事費(中学校)の4百万円の減額については、給食搬入口の工事、生保内中学校の屋根のシールの張替え工事が終了しており事業費精査による減額となります。

次に10款3項2目遠距離児童通学費補助金については、今後見込額不足による増額補正となります。

次に北浦教育文化研究所です。10款1項5目一般総務費11節需用費(消耗品)については、当初予算で1年分を要求するのですが、調整をかけられるため年度末に補正を要求するものです。学校適正配置研究検討事業費については、中川小学校、角館小学校の統合準備委員会等の会議が4回行われました。今後、会議予定等もなく事業精査による減額となります。

小学校費及び中学校費については事業費の精査による減額となっております。何件かの増額するものについては、実績見込額からの算出となります。

(千葉角館学校給食センター所長)

9ページをご覧ください。田沢湖学校給食センター分の補正予算要求概要です。今まで使用して給食用食缶、食器かご等の売払収入について計上しております。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

10ページをご覧ください。歳入については、県補助金として今年度、地域学校協働本部事業費補助金関係で今後見込額精査による減額補正となります。歳出につきましても、歳入にあわせまして、各節の今後見込額精査による補正となります。

(佐々木角館公民館長)

11ページをご覧ください。歳入については、13款1項7目角館公民館、小野崎家等の各管理運営費の使用件数に応じた使用料の増額補正となります。20款5項6目水道使用料については、東地区公民館 野球場跡地に工場建設をするにあたり東地区公民館から水道を引かせて頂きたい旨の依頼があり、メーターを設置し使用料を算定した確定分のものであります。歳出の各項目については、見込額精査、事業費確定による減額補正であります。

10款5項8目の燃料費については、不足が見込まれるため増額補正となっております。

(真崎西木公民館長)

13ページをご覧ください。管理運営費として、西木・桧木内各公民館の燃料費、電気、水道、電話料の不足分を補正要求するものです。減額補正としまして、ガス代余剰分、役員費(手数料)蜂の巣駆除等25千円減額、その他委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金についても精査による減額となります。

(富岡教育次長兼学習資料館・イベント交流館長)

14ページをご覧ください。歳入については雑入として、図書頒布代金、書籍販売手数料、雇用保険個人負担金分の計12万8千円の増額補正となります。歳出については、学習資料館及びイベント交流館費内の図書館情報システム管理運営費、学校図書館支援事業費の各委託料、使用料及び賃借料の精査による減額補正となります。

(伊藤スポーツ振興課長)

15ページをご覧ください。歳入については保健体育使用料として、市民体育館使用料他各施設の使用料確定による増額補正となります。雑入については再任用職員の雇用保険個人負担金分、スポーツ振興くじ助成金については、日本スポーツ振興センターからの助成ですが神代スポーツクラブ助成金額確定見込により394千円の減額補正となります。歳出については車両維持管理費の燃料費不足による増額補正、スポーツ推進委員費については

当初額確定による減額、福島県二本松市で開催予定であった東北大会が台風19号の影響で中止による減額補正となります。チャレンジデー事業費、高齢者と小学生のスポーツ交流事業費については事業費報酬額確定による減額補正となります。仙北市スポーツ文化交流事業費については、2020東京オリンピック、パラリンピックホストタウン事業によるタイ王国パラリンピック委員会車イスバスケットボール協会とのMOU締結による車イスバスケットボールの強化合宿を行いました。6月補正でも予算配当をいただきましたが、事業完了と精査による減額補正となります。総合型地域スポーツクラブ事業実施補助金については、歳入でも説明しました神代スポーツクラブ助成金額確定見込により減額補正となります。FIS モーグルワールドカップ開催事業費負担金については350千円の減額となります。これについては、秋田県の補助額2分の1を仙北市が負担するという経緯で行っており秋田県の負担金額が5千500万円であったものが5千430万円の700千円の減額となり仙北市負担額も2分の1の350千円の減額補正となります。17ページの体育施設費の武道館管理運営費、健康増進施設管理運営費、玉川河川公園管理費については、業務委託料の確定による減額補正です。市民野球場管理運営費については6月補正で増額補正させていただきベンチの更新、外野用のネット購入し事業完了による減額補正となります。落合運動公園と生保内運動公園は水道料金等不足による増額補正となります。

(冨木文化財課長兼平福記念美術館長)

18ページをご覧ください。歳入については伝統的建造物群保存地区防災施設整備事業に係る県補助金確定による500千円増額補正となります。雑入については臨時職員の雇用保険料の減額。武家屋敷図録他販売実績による増額補正となります。歳出については一般総務費の伝建群保存審議会、文化財保護審議会の当初開催予定回数より少なくなったための減額補正、文化財管理費については臨時作業員の方が今年度から若い方に変更になり賃金等の単価等が下がったための減額補正となります。武家屋敷公開管理事業費についてですが、武家屋敷管理人賃金等を当初6人分で計上しておりましたが1名欠員のまま、やり繰りしました。よって賃金等の関係経費の減額補正となります。旧石黒(恵)家公開事業費の共済費については当初予定より不足が見込まれての増額補正となります。重要伝統的建造物群保存地区整備事業費については事業費確定による減額補正となります。

(冨木文化財課長兼平福記念美術館長)

20ページをご覧ください。平福記念美術館歳入の使用料及び手数料については入館料実績を精査したところ当初予定より入館料見込が減るようなので減額補正となります。また、設置している自動販売機については売上が伸びないということで撤去することになり使用料減額補正となります。雑入の図書等頒布代金については当初より販売数が多く増額補正しております。歳出の管理運営費については精査により報酬、賃金、旅費、保険料、委託料等を減額補正しております。常設・企画展示費についても実績精査により各項目、減額補正となっております。児童生徒県南美術展開催費についても事業完了による減額補正となります。

(熊谷教育長)

質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議案第1号令和元年度仙北市一般会計補正予算の教育費について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に議案第2号仙北市旧石黒(恵)家管理規則の一部を改正する規則制定について説明を求めます。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

22ページをご覧ください。議案第2号仙北市旧石黒(恵)家管理規則の一部を改正する規則制定についてです。今までの申請書様式に不備な箇所があり今回修正するものであります。様式第1号については、3使用日時の箇所に「分」を追加記載。様式第3号については「1使用日時」を追加記載するものです。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

—質問なし—

(熊谷教育長)

それでは、議案第2号仙北市旧石黒(恵)家管理規則の一部を改正する規則制定について承認いたします。

(熊谷教育長)

次に報告事項に入ります。報告第1号仙北市教育行政報告について説明を求めます。

(戸澤教育部長)

報告第1号仙北市教育行政報告について、令和2年第1回仙北市議会臨時会において別紙のとおり報告するものです。別紙の教育行政報告をご覧ください。

令和2年第1回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇第39回全国中学生人権作文コンテスト秋田県大会について

今年度の全国中学生人権作文コンテスト秋田県大会において、神代中学校2年の宮本春菜(みやもと はるな)さんが、最優秀賞に当たる秋田県教育委員会教育長賞を、西明寺中学校2年の佐々木愛蕾(ささき あいら)さんが、奨励賞を受賞しました。このコンテストには、全県94の中学校から3,536点の応募がありました。

◇第63回秋田県中学校スキー大会の結果について

1月10日から13日まで、鹿角市で秋田県中学校スキー大会が開催されました。秋田八幡平スキー場で行われたアルペン競技男子で、角館中学校2年の鎌田宇朗(かまだ ねお)さんが、回転第2位、大回転第4位、生保内中学校2年の田口天太(たぐち てんた)さんが回転で第5位に入り、全国大会・東北大会の出場権を得ました。また、男子回転で生保内中学校3年の田中恒清(たなか こうせい)さん、女子回転で生保内中学校1年の田中結衣(たなか ゆい)さん、女子大回転で角館中学校3年佐々木爽楽(ささき そら)さんが、それぞれ東北大会出場権を獲得しました。

花輪スキー場クロスカントリーコースで行われた、クロスカントリー競技男子では、5kmフリーで神代中学校3年の布谷航斗(ぬのや かずと)さん、遠藤卓(えんどう たく)さんが入賞、またリレーで神代中学校が第2位となり、東北大会出場を決めました。また、生保内中学校3年の鈴木勇太郎(すずき ゆうたろう)さんも、男子5kmクラシカルで東北大会出場権を獲得しております。

なお、東北大会は1月24日から本市のたざわ湖スキー場で行われました。全国大会は2月5日から長野県野沢温泉村で開催されます。

◇子どもサミット・子ども議会について

1月8日、市内12校の児童会・生徒会の代表者による第16回子どもサミット～S e m b o k u C i t y ジュニア未来会議～及び第3回仙北市子ども議会を開催しました。

子どもサミットでは、「仙北っ子の5つの約束」の取組が日常生活においてどのように具現化されているか、情報交換を行いました。

午後から議場において、「私たちの力でつくる仙北市」をテーマに子ども議会を開催し、

各小・中学校の子ども議員から提言やお願いの発言がありました。提言は、学校生活の身近な問題や、市のPR、観光客の誘致、環境問題、地域活性化問題、国際交流、内陸線の利活用など多方面にわたりました。

今後も、子どもたちが一人の市民としてふるさと仙北市のことを思い、自分たちの学校生活をよりよいものにしていくことができるよう、様々な角度から支援指導していきます。

このたびの子ども議会開催にあたり、関係各位のご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。

【学校給食センター】

◇角館・田沢湖・西木給食センター給食休止について

現在、工事を進めている仙北市総合給食センターについて、稼働準備作業のため、3月6日金曜日で給食提供を休止する予定であり、保護者の皆様にご協力をお願いしました。

また、3月26日には、仙北市総合給食センターの竣工式を挙げる予定ですので、議会議員の皆様には、ご臨席のほどよろしく申し上げます。

【公民館】

◇新春書初め大会について

1月7日、角館交流センターを会場に「第15回 仙北市新春書初め大会」を開催しました。小学生・中学生・高校生合わせて37人が参加し、「はつひ」や「東京五輪」など学年毎の課題に取り組み、さわやかな墨の香りが漂うなか新年への思いを込め真剣に筆を運んでおりました。

また、審査のあいだには角館高等学校書道部による書道パフォーマンスが披露され、「迎春」と題し、10畳ほどのパフォーマンス用紙に、元号である令和の由来となった万葉集の和歌を、手際よく迫力ある筆さばきで書き上げると、会場内は大きな拍手に包まれ、大いに盛り上がりました。

今大会で書かれた作品は、1月7日から1月24日までタカヤナギワンダーモール店に展示して多くの方々にご覧いただきました。

【田沢湖図書館】

◇としょかんコンサート「詩人のうた」開催について

12月25日、田沢湖図書館の自主事業として毎年開催しているとしょかんコンサートを行いました。当日は小雪が舞う天候にも拘わらず、約50人の方々が足を運んでくださいました。

今回のコンサートは「詩人のうた」と題し、地元演奏家である安藤満里さんと倉持千恵子さんによるクラリネットやピアノの演奏に乗せて、歌手の加藤真弓さんによる宮沢賢治や北原白秋の詩の朗読が披露され、観客を魅了しました。また、神代小学校2年生の浅利みづきさんによる歌も披露され、会場からたくさんの拍手が送られました。

今後も、図書館ならではの自主事業を開催し、楽しく魅力ある図書館づくりに努めてまいります。

【スポーツ振興課】

◇フリースタイルスキーモーグルジュニアキャンプについて

1月25日と26日に、地元の子どもたちからモーグルの選手発掘と育成を図るため、モーグルスキージュニアキャンプがたざわ湖スキー場で開催されました。

このキャンプは、県と市の共催により行われたもので、市内からの10人を含む24人が参加しています。秋田県スキー連盟指導員から、基本的な滑りや実践的なターンなどの指導を受け、果敢にコブに挑戦する姿が見られました。将来、大会に出場する選手が出てきてくれることを願うとともに、モーグルの聖地として地域の盛り上げに積極的に取り組んでいき

ます。

◇フリースタイルスキー大会について

今シーズンは全国的な暖冬により、多くのスキー場では雪不足の状態となっておりますが、黒森山モーグルコースでも雪不足により大会コース設営が出来ない状況です。明日には事務局会議を開催し、関係団体と大会実施と開催判断について協議を行います。開催の可否については、2月初旬にも決定する予定です。

◇第40回全日本スキー選手権秋田たざわ湖大会フリースタイル競技モーグル・デュアルモーグル種目について

今シーズンは全国的な暖冬により、コース内外が雪不足のため開催が危ぶまれておりますが、2月15日と16日に、第40回全日本スキー選手権秋田たざわ湖大会 フリースタイル競技モーグル・デュアルモーグル種目がたざわ湖スキー場で開催されます。たざわ湖スキー場では、全日本大会としては初めての開催となります。国内外から選手約90人が参加予定ですが、これまでのワールドカップ等の開催経験を生かし、準備に万全を期して参ります。

◇2020 F I S (国際スキー連盟)フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会について

全日本大会の翌週22日と23日には、F I Sフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会が、6年連続で田沢湖スキー場で開催されます。

本大会でも、世界トップレベルのスピードと技術で繰り広げられるターンやエアを間近に見ることが出来ます。また、大会アンバサダーをお願いしている上村愛子(うえむら あいこ)さんには、レース解説もお願いすることとしていますので、魅力満載の大会となるものと期待しています。

大会で使用する黒森山モーグルコースは、抜群のロケーションと良好なコースコンディションで高い評価を得ておりますが、今後もコース整備等の技術力向上を図りながら、これまで以上に大会が盛り上がるよう万全の体制で取り組んでいきます。

【平福記念美術館】

◇児童生徒県南美術展について

12月1日から1月28日まで開催した「第42回児童生徒県南美術展」の特賞受賞者表彰式を1月18日に開催しました。審査員長の佐々木良三秋田大学名誉教授からは、出品作品について、子どもたちの表現力や発想に対する詳しい講評をいただきました。

特賞23点のうち市内の小中学校からは、仙北市長賞に、角館小学校1年青柳広樹(あおやぎ ひろき)さん、角館中学校1年細川楓花(ほそかわ ふうか)さん、秋田魁新報社賞に、角館中学校3年小玉陽菜(こだま ひな)さん、AKT秋田テレビ社長賞に、桧木内中学校2年座間和心(ざま わこ)さんの計4点の作品が選ばれました。

また、12月21日から1月26日まで、角館中学校全校生徒による「お気に入りの角館展」と題した、町内の風景画等の作品展示も同時開催しました。

—資料により説明—

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

—質問なし—

(熊谷教育長)

次に報告第2号仙北市学校給食用食材の納入に関する要綱の制定について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

報告第2号仙北市学校給食用食材の納入に関する要綱を別紙のとおり制定したので報告

致します。この要綱につきましては現在、田沢湖 角館 西木各給食センターに要綱及び基準というものがありませんでした。令和2年度から新しくなることであり要綱を制定しました。要綱の内容については衛生の管理、食材の品質保持、取引の停止、災害等による納入の取りやめ等を定めております。主に31ページ様式第1号の納入資格業社登録申請書により業者登録していただきます。現在は地元の商店等から食材を納入いただき、それぞれの地区で納入契約していた経緯がありました。今回の要綱制定に伴い、現在の取引のある業者商店等を業者登録するものであります。新しくなったことで大手業者さんが入ってしまうと(単価が安くなるかもしれないが)今までの単価等で納入出来なくなってしまい市内業者選定が出来なくなることも考えられ、令和2年度については移行期間として現在、取引のある業者商店等に登録業者になっていただく考えであり、取引のある業者商店等に要綱を送付致します。現在の給食センターから新しい場所に移転することになり距離的關係で納入出来なくなる業者商店等があるかもしれませんが、現在取引のある業者商店等を優先して業者登録したい考えであります。今後の登録状況により食材等で足りない部分等が発生する場合は随時、募集していきたいと考えております。この要綱制定にあたっては小規模登録、市内優先業者条例等を優先して考えた要綱となっております。

(熊谷教育長)

質問はありませんか。

(橋本委員)

要綱第2条、第3条に所長の例外規定を設けられていますが、食に関する大事な事業でもありますので、安易に例外規定を適用しないよう進めていただきたいと思います。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

わかりました。

(安部教育長職務代理者)

現在納入している業者商店等よりも大手業者が納入する品物が安い場合でも、とりあえずと言われましたが現在の納入業者を優先するのでしょうか。分かっている範囲で教えてください。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

現段階では、今お願いしている業者商店等が全て登録して下さる前提で考えております。今、大手業者を入れてしまえば現業者商店等の単価が高い場合、大手業者のみになってしまうと考えられ、まずこの1年は移行期間として現業者商店等に登録業者になっていただき使いたいと考えております。

(安部教育長職務代理者)

将来的に懸念されるのは、大手業者が安価で仙北市の納税対象ではないと考えられます。現業社商店等は単価が高い場合でも仙北市の納税対象であることも勘案した対応をお願いしたいです。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

31ページの様式1号、添付書類に市税の納税証明書(滞納なし証明)を提出していただきますので、納税対象でない場合は申請が出来ないこととなります。将来的懸念はありますが、現段階では今の業者商店等を継続して使いたいと考えております。現業者商店等については現品提出を各給食センターで依頼し品質検査もしており、新規登録業者よりもこの作業が省けます。引っ越し作業等もありこの点も含め、現業者商店等に対応していきたい考えであります。今後、現業者商店等が廃業した場合は致し方ありませんが、新規参入の場合は所定様式の提出。品物見積り書、現品提出と品質検査も行います。

(安部教育長職務代理者)

総合給食センターが市内業者の育成、定着の場となるような運営をしていただきたいと思います。

います。

(熊谷教育長)

次に報告第3号地域学校協働活動推進員の委嘱について説明を求めます。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

35ページをご覧ください。報告第3号地域学校協働活動推進員の委嘱について別紙のとおり報告致します。36ページをご覧ください。昨年12月定例会でも申し上げました神代小学校地域学校協働本部設置に伴いまして平成31年4月1日施行の仙北市地域学校協働活動推進員設置要綱第5条に従いまして、昨年12月24日付けで記載のとおり伊藤政和さんを神代小学校協働活動推進員として委嘱しましたのでご報告致します。伊藤さんは、平成30年3月に大仙市藤木小学校の教頭職を最後に定年退職されております。仙北市内での小学校勤務経験も豊富であり学校教育に詳しく地域の人材にも明るく、また人柄も温厚であることから、神代小学校校長先生側から推進員として適任との推薦を受け委嘱するものであります。任期につきましては、協働本部を立ち上げた日から1年度となります。年度途中でしたが令和元年12月24日から令和2年3月31日となります。今年度予定していた推進員の委嘱については伊藤さんをもって終了となりますが、令和2年度からの委嘱については3月もしくは4月定例会にて報告を予定しております。また、令和2年度から新しく協働本部を立ち上げる活動に伴う推進員につきましては、設置状況の進捗具合で随時報告させて頂きたいと考えております。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

次にその他の時間とします。

はじめに、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(米澤北浦教育文化研究所所長)

12月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

小学校が4件、中学校が2件、計6件の報告がありました。

12月は冬休み前ということと年末が重なり何かとせわしない雰囲気になりがちですが、教職員の気付きやアンケート等での訴えから、些細なことであっても取り上げ、見守り、指導していく体制が根付いてきています。

次に、12月の不登校についてです。

前月より継続の児童生徒について、小学校は2名、中学校は18名です。新規と捉えられる児童生徒はいません。

以上、12月のいじめ、不登校の状況です。

(熊谷教育長)

12月の報告事案について、質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

ホームページ公開についてですが、字消し部分は削除し、アンダーライン部分を追加書きし、その他の部分はそのまま市ホームページに掲載させていただきます。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、浅利次長へ連絡してください。

他にありませんか。

(戸澤教育部長)

2月25日から市議会定例会が開会致します。議案の予定案件は学校給食センターの条例改正、育英奨学資金の基金条例改正です。先程の説明で角館感恩講様からの寄付金15万円いただくことによる改正となります。幼稚園条例で田沢幼稚園についてですが、ここ数年休眠状態であり条例廃止と副市長が地元の方々に対しても説明を行ったとのこと。幼稚園の運営については、子育て推進課の担当ですが設置と廃止については教育委員会が担当であり2月定例会時に審議いただきたいと予定しております。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

生涯学習課からご報告させていただきます。委員の皆様へ配付しております仙北市総合美術展のリーフレットです。今年度で9回目を迎えます。今年度は仙北市内の方々から約160点ほどの出展が予定されてます。会期については、2月4日から16日です。4日火曜日については午前9時から平福記念美術館でオープニングセレモニーが開催されますので委員の皆様のご出席をお願い致します。なお、今回の美術展には過去に長く実行委員長を務められた高田文雄さんが昨年亡くなられて、追悼の意味を込めて高田さんの作品を3点ほど展示させていただく予定です。

(坂本委員)

モーグル大会開催について質問です。雪の具合はどうなんでしょうか。

(伊藤スポーツ振興課長)

この2日間で田沢湖スキー場は30cmほどの積雪がありました。現在、黒森のバーンに圧雪した状態で積雪30cm。現状では開催するのは厳しい。開催可否については開会の2週間前に決定するのが基本的な考え方です。全日本については、2月15、16日開催の2週間前ということで2月に入った早々に判断することになります。今の状態で下地については、ある程度作れましたので今後の降雪に期待しております。最悪の場合、もしかか駐車場、高原温泉より雪を運ぶことも考えております。ただ全日本のモーグルについて今年度は全ての大会がキャンセルまたは延期となっております。1戦も開催しておりません。今週末に北海道のさっぽろばんけいスキー場で全日本A級大会が開催される予定ですが、それについてもはっきり分かっていない状況です。開催されると思いますが、その段階で今年の日本国内初戦ということになると思われます。長野、新潟でも開催出来ず、福島は止めるという状況です。全日本とワールドカップが連動した週で開催されるので、全日本を止め、ワールドカップを開催した時に全日本も開催出来たのではないかとということも考えられ、非常に判断するのが難しい状況です。全日本については国内大会が開催されていないこととランキングの関係もありA級大会が他で予定されている大会を無くしても延期して開催出来ないか要望されております。ワールドカップを開催した翌週に最悪、延期してでも全日本大会を開催してほしいという要望があります。雪を集めてやれる、やれないの判断をしなければならいと思いますが、手をこまねいて何もせずに雪がなく、やれないということは出来ないと思いき、雪を集めて開催する算段をしている状況です。非常に厳しいというのが現状です。1月31日に全日本の役員と大会関係者で状況確認をして2月初旬に判断をすることになります。

(坂本委員)

わかりました。

(坂本委員)

米澤北浦教育文化研究所所長には、大変な時期に生保内中学校で勤務いただきありがとうございました。別件ですが、先日SDGsのシンポジウムに出席致しました。そこで平和中

学校2年生の生徒さんの発言を聞きまして、仙北市が取組んでいることをもっと学校に広げて行ってほしいな感じました。先生方も出席されているのをお見受けしましたが、先生方、生徒レベルでも長い目でSDGsに取り組んでほしいと感じました。

(熊谷教育長)

他にありませんか。

(伊藤スポーツ振興課長)

オリンピック、パラリンピック関係についてですが、11月の会議録の中で聖火リレーについて13名で行うと発言しておりますが、人数についてはまだ公表されていない事案とのことで2月～3月の公表までご留意願いたい旨と会議録から削除をお願いします。また、2月当初に発表になりますがパラリンピックの聖火は各都道府県を巡回しませんが、都道府県によって採火式というものが出来ることになっています。採火式については県内25市町村全てで行う準備をしております。発表前ですが、仙北市としてはパラリンピック採火式を白岩の雲巖寺で行うささら舞いで清められた、かがり火から8月15日に歴史と文化の火ということで採火したいと県に報告しております。その火は、15日にランタンに移され保管され、同日秋田市のイオンモールに県内25市町村の聖火が集められ、それが東京に送られ、東京では全国から集まった聖火を一つの火として都内で4日間、パラリンピック聖火リレーを行う予定で、その一つの火ということで雲巖寺で行うささら舞いの火を提供したいと準備を進めております。次回定例会時には発表済みになっておると思いますのでご承知おき願います。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

2月の定例会についてですが、25日から議会が開会されます。18日が議会運営委員会となり、条例等の改正がありますので、その前に定例会を開かなければならず13、14日に開催を考えてましたが、スポーツ振興課のスキー大会、13日は青山学院大学の交流行事が予定されており、12日に定例会開催を予定しております。委員の皆様のご予定は如何でしょうか。細川委員の都合も確認し12日開催で調整致します。3月の定例会につきましては、通常の26日開催を予定しております。同日は午前11時に総合給食センター竣工式を行い、午後2時より定例会を開催したいと考えております。

(熊谷教育長)

それでは、以上で令和2年第1回仙北市教育委員会1月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後2時58分)